

2025 年度事業計画

一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会

1. 2025 年度事業計画

(1) 会員活動

a. 会員交流 (★:2025 年度新設)

2025 年度も引き続き、フォーラム・研究会・研究プロジェクト等の充実、活性化を目指して活動を実施する。

(a) フォーラム

下記のフォーラムを、会場開催を中心に開催、より活発な活動を進める。
なお、トップフォーラムは東京・関西の枠を外して一体として活動する。

- ・CIO エグゼクティブフォーラム(1 グループ)
- ・IT 企業トップフォーラム(3 グループ)
- ・IT 部門経営フォーラム(6 グループ)
- ・IT グループ会社経営フォーラム(4グループ)
- ・IT グループ会社人材育成フォーラム(1 グループ)

(b) 研究会

2025 年度は、下記 15 テーマについて研究会を実施予定である。昨年度から一部再編成を実施し、新たに 2 研究会を立ち上げる。一部の研究会については、合宿を 8 月、9 月、10 月に実施予定である。

- ・ビジネスデータ研究会
- ・IT インフラ研究会
- ・サービスマネジメント研究会
- ・IT 投資ポートフォリオ研究会
- ・組織力強化研究会
- ・システム開発・保守 QCDs研究会
- ・AI 研究会
- ・トランスフォーメーション研究会
- ・人材育成事例(HRCS:Human Resource Case Study)研究会
- ・製造業 DX 推進アプローチ研究会
- ・デジタルマーケティング研究会
- ・ビジネスリレーションシップ研究会
- ・女性ビジネスリーダー研究会
- ・デジタル職人研究会★
- ・企業情報セキュリティ研究会★

(c) 研究プロジェクト

2025 年度も下記の研究プロジェクトを継続して実施する。

- ・基幹系システムアジャイル適用研究プロジェクト

(d) 未来ビジネスフォーラム

各社の DX 推進について、様々な立場の方(CIO 経験者をはじめとした有識者)の参加を得て情報交換を進めている。2025 年度も前年に引き続き 2 グループで開催する。

(e) アドバンスト研究会

2024 年度も、個別グループでの設立申請を受付し、審査を経て活動を実施する。

(f) 情報セキュリティ WG

情報セキュリティに関する課題とその解決方法の共有を目的に、情報セキュリティをマネジメントする立場から、事例紹介・意見交換等を実施している。

2025 年度も、前年に引き続き、マネジメント WG とソリューション WG の、2 つのグループで活動する。

(g) 関西

IT 部門経営フォーラム関西、IT グループ会社経営フォーラム関西を開催している。

加えて、「PARK(The place of advanced relationship in Kansai)2.0」として、ミドルマネジメントの視点から共通する課題について、より踏み込んで議論し、その成果を発信することを目的に活動する。

(i) JUAS アカデミー

IT に関する最新技術、関連施策に加え、業界や市場の動き、海外動向、経営に適用し得る考え方等の時宜に即したテーマを選び、単発の会員限定の勉強会として開催する。

2025 年度も昨年に引き続き、オンラインを中心に様々なテーマで積極的に実施していく。

b. 個人情報保護など情報管理基盤の整備と制度運用事業

(a) 「認定個人情報保護団体」活動

2025 年度も前年度に引き続き、C 会員を中心に登録を受け付け、苦情相談等を実施する。

(b) プライバシーマーク審査事業

2025 年度のプライバシーマーク審査は、申請件数は 2,123 件、審査件数は 2,130 件と、2024 年度(2,150 件)より 20 件程度少ない件数を見込んでいる。

2025 年度末で 9 名の審査員が 75 歳となり退任することから、引き続き新たな審査員との契約を進め、年間 8 名との契約を目指し、これまで培ってきた育成制度を活用して早期育成を図る。また、審査員グループリーダー 8 名のうち 3 名が 2025 年度末で退任となるため、次の審査員グループリーダー体制を構築していく。

「プライバシーマーク審査業務刷新に向けた業務改革・IT 化構想」については、第 2 ステップ:「JUAS セキュリティセンター内審査管理業務の刷新」を年度内に稼働させる。入会～申請～審査～付与までの工程の業務のシンプル化、効率化を図り、事業者への請求書や現地審査案内、付与適格通知など、郵送やメールで行っていた業務を、事業者のマイページに掲載することで、効率化と業務の正確性確保を図る。

また、プライバシーマークに係る PMS の構築相談や、カンファレンスや情報提供などの各種会員サービスも継続して実施する。

(2) 教育研修事業

2025 年度も、企業の人材育成に寄与するような新規テーマでの研修講座を企画、開催していく。

これまでのオープンセミナーの定期講座を中心に、研修分類を整理し、今後強化すべき分野を明確にし、年度初時点で 200 本程度の開催(会場開催・オンライン配信・動画セミナー)に絞り込んでいる。

なお、期中において、新規セミナー企画が立ち上がる可能性が高いため、多少の開催数の増加が見込まれる。加えて、2024 年度より開始した動画セミナーのラインナップも増やしていく。

コース型セミナーとして、「変革リーダーシップ勉強会」「IT アーキテクト養成講座」は 2025 年度も引き続き開催予定である。加えて、新たに「ビジネスアーキテクト養成講座」「女性リーダー勉強会」「基幹システム再構築プロジェクト推進者養成講座」等、コース型セミナーを増設する。

新人・配転者向けプログラムに関しては、すでに多数の参加希望をいただいているため、2024 年度同様 2 クラス同時開催とし、受け入れ数を増やすほか、新人速習コースを秋だけでなく夏にも開催予定である。

(3) 普及推進事業

a. JUAS スクエア 2025

ユーザー視点での情報発信・情報収集ができるユーザーカンファレンスとして、2025 年 9 月 4 日(木)、1 日に集中して、ハイアットリージェンシー東京にて開催予定である。

メインテーマとして、「想像を超えて その先へ～新たな価値創造への挑戦～」を掲げ、基調講演に、立石郁雄氏(ヒューマンルネッサンス研究所)、基調パネルに、加藤恭子氏(全日本空輸)、嶋谷あゆみ氏(東京ガスiネット)、花田琢也氏(日揮ホールディングス)の登壇を予定している。

b. イノベーション経営カレッジ

2025 年度も引き続きイノベーション経営カレッジの活動をプログラム(人材育成)、コミュニティ(同窓会)、ラボ(研究)の 3 つのカテゴリーで実施する。

ミドルマネジメント層向けのプログラム「IMCJ2.0」は、今年度で 23 期を迎え、10 月・11 月に、1 週間ずつ、軽井沢での合宿研修として開催を予定している。

また、事業創造のための協創の場「Challenge Camp」については、開催を一時休止しカリキュラム改訂期間とする。

(4) 調査研究事業

a. ソフトウェア・メトリクス調査

ソフトウェア開発プロジェクトの各種データを収集し、分析して、「メトリクス(基準値)を提供していく」「ソフトウェア・メトリクス調査」は、2024 年度利用頻度の高い上位指標に絞り込んで、下期に調査を再開し、2025 年度も継続してデータを収集する。

一方、従来のソフトウェア・メトリクス調査は、ウォーターフォール型開発を中心としたものとなっており、昨今のアジャイルやパッケージ利用開発等を含めた環境変化を踏まえると、メトリクスの在り方を再検討する必要がある。よって、品質生産性に寄与する ティップス、メトリクス等について検討をしていく、ソフトウェア・メトリクス調査 2026 プロジェクトを立ち上げる。

(5) 企業 IT 動向調査

企業の IT 投資、IT 導入状況、IT 活用の実態、組織・体制等、動向全般について、幅広く俯瞰的な調査を実施する。また、ユーザー企業における重要課題を「重点テーマ」と位置づけ、解決に向けた指針を提言することを目的とする。実施に際しては、調査委員会・調査部会を組織し、テーマ選定、調査内容企画、分析、報告書執筆を行う。

調査の方法は、本年度もアンケートとインタビューを併用する予定である。情報発信の取組も積極的に行っていく。

※2012 年度より公益目的支出計画の実施事業として、継続的に実施している。

以上